

2019年6月6日(木)

質問者；熊野正士委員(公明党)

むし歯予防についての質問

配布資料の説明から；

その1) 要介護高齢者の歯と口の写真：3年半の介護中に多くの歯を失くした症例

成人・高齢者に特有な歯根面むし歯と、歯根面むし歯の進行日あったために歯冠の破折した症例

その2) 11歳男児の口腔内写真：上顎の4前歯(中切歯と側切歯に進行したむし歯)

さらに大臼歯にも大きなむし歯で、口腔全体が劣悪な状態です。

この子は父親と祖母の3人暮らしで、父親は長距離トラックの運転手で不在がちであり、祖母は認知症を患っており、男児も知的な障がいを抱えています。

ネグレクト状態にあったと聞いています。

このような高齢者や子どものむし歯の実態ですが、6月4日に、(歯科口腔保健の推進に係る)う蝕対策ワーキンググループ報告書が公表されております。「我が国のう蝕有病率はいずれのライフステージにおいても、依然として高い水準にあり、地域間や社会経済的な要因等による健康格差も生じている。」とありました。その対策として、報告書では「集団を対象としたポピュレーションアプローチを積極的に展開していくことが重要である」さらに、「WHOが推奨しているフロリデーション等、フッ化物の全身応用や成人期・高齢期におけるフッ化物洗口等のポピュレーションアプローチを検討していく必要がある」と記載されています。

そこで、厚労省に伺いたい。フロリデーションなどのポピュレーションアプローチの効果について説明願いたい。

吉田医政局長答弁：歯科口腔保健を推進することが健康寿命の延伸お観点からも重要であるとの認識のもとで、歯科口腔保健の推進に関するう蝕対策ワーキンググループを設けて、その報告書が6月4日にまとめられたところです。う蝕予防につきましては、(熊野)委員からもポピュレーションアプローチの重要性を指摘いただきましたが、従来型の個人を対象としたハイリスクアプローチだけではなく、集団を対象としたポピュレーションアプローチを積極的にすべしとの話がありますし、またフロリデーションなどフッ化物の全身応用あるいは生涯を通じたという意味では成人期・高齢期におけるフッ化物洗口などのポピュレーションアプローチの重要性を有識者の方々からご提言いただいていることであり、これを踏まえて重症化予防あるいは健康格差の縮小に寄与できると認識しております。

熊野正士委員：フッ化物利用による集団を対象としますので、とりわけ安全性の確保が重要になってくると思います。安全性に関しては、学术论文も多数発表されておりますし、フロリデーションについては(資料)、実は世界の54か国で導入されており、約4億人にフロリデーションが実施されています。また、シンガポールや香港では100%の普及率で、アメリカ(合衆国)でも総人口の66.3%となっています。このような中で、安全性の確保に向けた調査研究、あるいはリスクコミュニケーションを含めた情報発信のあり方などについても是非ご検討いただければと思います。いかがでしょうか。

吉田医政局長答弁：今年度から歯科口腔に関する予防推進モデル事業を実施いたします。この事業の中で先ほどの質問にもありました健康格差の縮小、あるいは健康増進を目指した一時予防な

どの強化推進モデルを検討・実施いたします。その中には、フッリデーション、これは日本では行われていません。う蝕を予防するため飲料水にフッ化物を添加することという点についても課題の一つとして念頭に置いたうえで、このモデル事業の実施を通じて、国内のエビデンスさらには外国事情などについても集めて本事業において必要なエビデンスの収集を行ってまいりたいと考えています。

熊野正士委員：今年度約6,500万円の予算だと思いますけど、局長から話がありました、一次予防のモデル事業は非常に大事であると思っています。一次予防の重要性からすると、こうした事業はしっかりと腰を据えて、継続的に是非行っていただきたいと思っています。厚労省いかがでしょうか。

吉田医政局長答弁：このモデル事業につきましては、先ずモデル的に事業をいろんなポピュレーションアプローチを構築した上で、それを評価して横展開して、効果的な地域の取り組みを促すということが重要だと思っています。その意味からも、歯科口腔保健の推進に関する法律を2011年に作っていただき、それに基づき基本的事項というものを厚生労働大臣が2012年7月に定めております。これに基づいて、各般の施策を進めているところでございますが、この歯科口腔保健のさらなる推進に向けた取り組みも、この基本的事項の最終評価年度が2022年というふうに定めておりますので、それを念頭において国としても必要な事業を逐次実施していけるように対応してまいりたいと思います。

熊野正士委員：是非よろしくお願ひしたいと思います。